

平成26年度

政策評価報告書

第2章 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり

【基本目標】

第2章 豊かな心を育む文化の薫るまちづくり

【基本方針】

豊かな心、たくましい体、確かな学力を育むように幼児教育と学校教育の連携を深めるとともに、教育内容の充実や学校の耐震化対策などの環境整備を進めます。

市民が生涯にわたり学習やスポーツができる多様な活動の場と機会を提供するとともに、次代を担う青少年の健全育成を図れるよう、地域と家庭の教育力を高めます。

また、薫り高い歴史・伝統・文化や芸術に身近にふれあえる環境づくりを進めます。

【基本施策の総合評価】

基本施策	評価結果		
	H24	H25	H26
学校教育を充実する	B	A	A
幼児教育を充実する	A	A	A
生涯学習を充実する	A	A	B
青少年を健全育成する	A	A	A
歴史・伝統・文化を伝承し創造する	A	A	A
スポーツの普及・振興を図る	A	A	A

【施策成果指標進捗状況】

指標名	単位	H20 (基準値)	H22	H23	H24	H25	H26 (目標値)
学校教育施設の耐震化率	%	66.7	71.7	73.3	83.0	88.3	76.0
小学校との交流事業数	回	60	71	97	134	99	76
公民館の利用者数	人	437,977	459,279	491,458	498,292	490,202	450,000
図書館の貸し出し冊数	冊	488,417	498,280	484,373	460,593	442,715	500,000
勤労青少年ホームの利用者数	人	11,793	14,333	17,479	17,143	20,200	12,000
鯖江市美術展の来場者数	人	13,500	16,500	18,514	13,300	13,500	15,000
指定・登録文化財数	件	110	140	153	171	183	150
総合型地域スポーツクラブの加入者数	人	1,910	2,012	2,077	2,129	2,278	2,100
スポーツ施設等の利用者数	人	307,584	323,124	305,559	308,605	338,096	311,000
学校教育施設の耐震化率	%	66.7	71.7	73.3	83.0	88.3	76.0

【成果・課題・今後の展開】

豊かな心を育む文化の薫るまちづくりを進めるため、安全安心な学校施設の下、児童生徒の学力を育成し、市民が生涯にわたり学習・スポーツに取り組める環境をさらに充実するとともに、ふるさとを知り郷土に愛着と誇りを持てる事業展開が必要となっています。

教育環境の整備では、園児・児童が相互の行事参加などで交流を行い、幼児教育と学校教育の連携を深め、園児の円滑な就学を図り、学校生活においては食育を基盤として、知育、徳育、体育を推進しました。また、平成27年度学校耐震化率100%に向け着実に校舎、体育館の耐震化を進め、児童・生徒の安全安心な教育施設環境整備に努めました。

今後は、児童生徒の確かな学力を育成するため、IT機器を活用した分かりやすい授業の取り組みを進めるとともに、ふるさと学習を通して地域社会の一員としての自覚を身に着けた児童生徒を育みます。また、学校施設の整備では、非構造部材の落下防止対策など施設の安全安心に努めます。

生涯学習・生涯スポーツの推進では、地区公民館や高年大学等の社会教育施設を市民が生涯にわたり学べる場として提供し、また、生涯スポーツの中心となる総合型地域スポーツクラブの活性化に努めました。引き続き、市民の学習意欲の高まりに応えるため、公民館等の社会教育施設を学びの場の拠点として、地域人材の活用など生涯学習体制を整えるとともに、子どもから高齢者まで広くスポーツに参加できる総合型地域スポーツクラブを活性化し、生涯学習、生涯スポーツの推進に努めます。さらに、平成30年の福井しあわせ元気国体の開催に向けて、準備組織を設置し市民とともに開催できる大会となるよう、その準備を進めます。

また、歴史・伝統・文化・芸術については、身近にある貴重な歴史的・文化的な資産を幅広く調査し、新たに指定文化財に指定することにより、故郷の文化を感じる環境を進めるとともに、市美術展の開催などにより、文化芸術に対する市民の創造意識を高め、直接芸術に触れる機会の充実を努めました。さらに歴史的・文化的な資産を市の宝として保存・活用し、市民が文化芸術に触れる機会を創出することにより、郷土に愛着と誇りを持てる環境づくりに努めます。

【総合評価】

A：「政策目標に向けて高いレベルで達成できた。」

【基本施策】

7. 学校教育を充実する

【基本方針】

学校は、子どもが一日の大半を安心して安全に過ごせる活動の場であるとともに、非常災害時の地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすために、施設の耐震性能を高め、快適な教育環境と安全性のある施設の確保に努めます。

また、食育を通して健康な心身の育成や伝統的な食文化の継承を図りながら豊かな心、道徳心の育成とともに、基礎学力の向上に努めます。

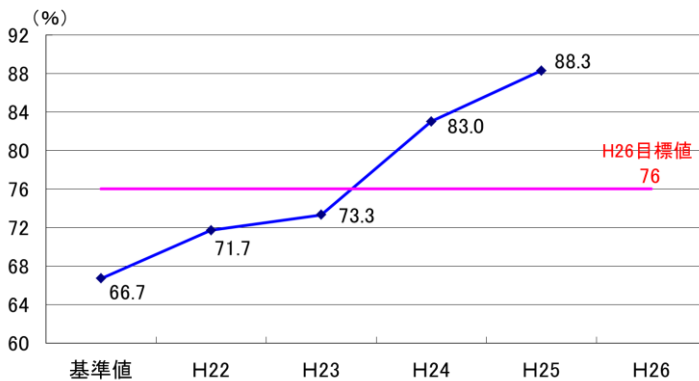
さらに、学校とPTAやボランティア団体などとの連携を深め、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりとともに、学校と地域産業との連携を深めることにより本市の産業や勤労の尊さについて学ぶ場の確保を進めます。

【実施施策】

◇教育環境の整備・充実 ◇教育内容の充実 ◇地域との連携の推進

【施策成果指標】

学校教育施設の耐震化率



【耐震性のある棟数／学校教育施設全棟数】
 学校施設の耐震化の達成度を図るための指標として、全施設の耐震性能の確保を目指します。

【構成事務事業の達成ランク】

基本施策	構成事務事業			
	H25 ランク			
	A	B	C	小計
学校教育を充実する	33	1	0	34
教育環境の整備・充実	11	1	0	12
教育内容の充実	22	0	0	22
地域との連携の推進	0	0	0	0

これまでの取組み成果

小中学校で耐震診断の結果 D 判定以下や C 判定の一部の校舎等の耐震補強や改築に取り組むとともに、計画的な維持補修に努め、施設の長寿化を図った。また、中学校のエアコン整備に着手し、さらに地域や保護者の方と協働し、学校や幼稚園の軽微な修繕、環境保全活動に取り組んだ。

基礎学力の向上のため、本市独自の確認テストを年 2 回実施するとともに、小学校の外国語活動の充実、新聞を活用した NIE の推進に取り組んだ。

また、地場産業製造体験や施設見学、職場体験、ものづくり博覧会への参加、さらに、地場産業界で活躍するデザイナーによる授業を通して、児童生徒の本市の産業への理解を深めた。

今後の課題

小中学校で耐震補強が必要な C 判定の校舎、体育館の耐震化を平成 27 年度までに実施し、耐震化率 100%を目指すとともに、校舎の老朽化に伴う大規模改修やプールの改修、小学校教室へのエアコン設置など教育環境整備の必要がある。また、体育館や武道館のつり天井等非構造部材の落下防止対策を講じる必要がある。

学力の向上については、ICT 機器等の活用するなど、様々な教育的手法を用いて、児童生徒の学ぶ意欲や学習内容の理解を促進することが重要である。また、障害のある児童生徒も可能な限り、一緒に地域の学校で学ぶインクルーシブ教育の推進を図るため、教員や施設など受け入れ態勢整備の必要がある。

今後の施策展開

耐震補強が必要な校舎、体育館については、平成 27 年度までに年次計画により実施していく。平成 26 年度は、鳥羽小学校、中央中学校、東陽中学校の耐震化を図る。また、校舎のトイレ改修、教室へのエアコン設置を進めていく。さらに、学校別に体育館等の非構造部材の落下防止対策の方針を決め、平成 27 年度までに対策を実施していく。

児童生徒の確かな学力の育成について、教員の ICT を活用した授業を推進し、指導方法の開発や活用力の向上を図る。また、地場産業や地域の文化の理解を深めるため、地場産業の体験学習やデザイン実習、ものづくり博覧会への参加を進める。

さらに、障害のある児童生徒に応じた施設改修や学校生活学習支援員の配置に努め、インクルーシブ教育を推進していく。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：B、H25 総合評価：A〉

【基本施策】

8. 幼児教育を充実する

【基本方針】

保育所（園）・幼稚園における幼児教育は、基本的な生活習慣や食生活の形成、規範意識の育成などの課題に対して大変重要な役割を担っています。そこで、子どもが健やかに育ち、元気で就学していくために、家庭との連携による食育の推進や遊びのなかで基本的な生活習慣の定着、園外活動による体力増進に努めながら、小学校との交流事業の充実を図ります。

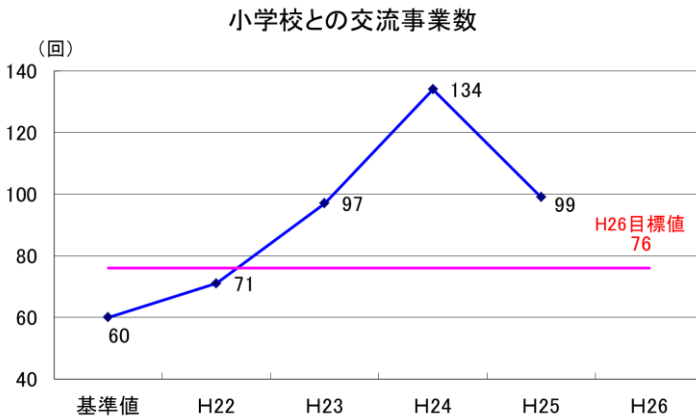
また、幼児期の教育は、園（所）と家庭・地域での教育とが一体となることでより有効なものとなり、小学校への移行がなめらかに行えることから、地域の幼児が気軽に遊びに来られるよう、保育所（園）・幼稚園が地域に開かれた施設となるよう事業を進めます。

さらに、豊地区においては、本市で初めてとなる認定こども園「(仮称) ゆたかこども園」の平成23年度開園に向けて準備を進めており、今後も幼保一元化については、国の動向を踏まえさらなる検討をしていきます。他の幼稚園においても、教育相談や預かり保育、そして、子育て支援センターとしての役割も果たしながら、家庭や地域を支援していきます。

【実施施策】

◇幼児教育の充実

【施策成果指標】



就学前教育の充実を図るための指標として、運動会や小学校行事への参加、幼稚園行事への児童の招待等の交流回数の増加を目指します。

【構成事務事業の達成ランク】

基本施策	構成事務事業			
	H25 ランク			
実施施策	A	B	C	小計
幼児教育を充実する	7	0	0	7
幼児教育の充実	7	0	0	7

これまでの取り組み成果

小学校への円滑な就学を図るために、運動会や学習発表会などの学校行事や読み聞かせなどによる幼稚園児と小学校児童との交流を深める事業に取り組んだ。また、ゆたかこども園と豊小学校とが連携したスタート・アプローチカリキュラム研究支援に努めた。

また、地域に開かれた幼稚園として、未就園児を対象に園開放事業「遊びにおいて」を実施し、地域の子育て支援に努めた。

今後の課題

地域の人が安心して子どもを預けられる幼児教育施設として、施設整備や必要な支援員を配置し、幼児教育の充実を図る必要がある。また、すべての園において、幼小連携のためのアプローチカリキュラムの普及啓発と試行に努める必要がある。

今後の施策展開

安全で快適な幼児教育環境を整備するため、施設の維持補修や改修を計画的に実施するとともに、3歳児保育や気がかりな幼児に対する支援員の配置に努め、地域の人が安心して子どもを預けられる幼児教育施設として充実を図っていく。また、幼小連携を一層充実させるため、ゆたかこども園と豊小学校が協力して作成したスタート・アプローチカリキュラムの試行に努める

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A、H25 総合評価：A〉

【基本施策】

9. 生涯学習を充実する

【基本方針】

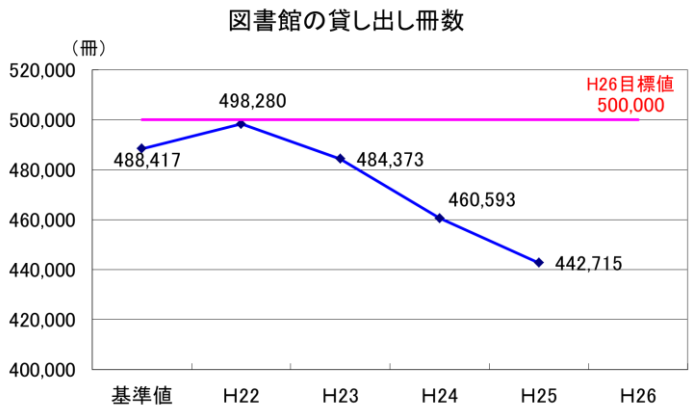
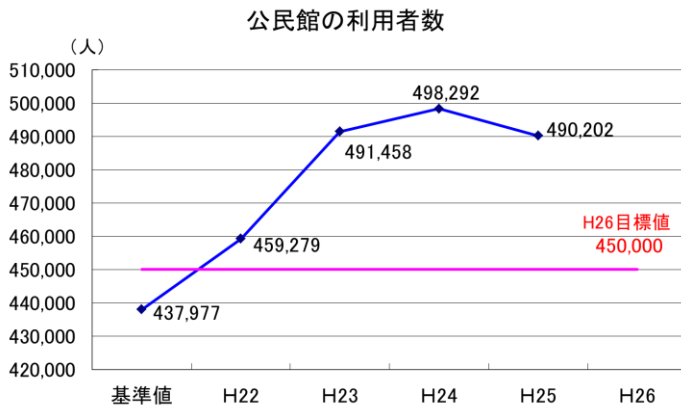
市民一人ひとりの学習意欲の高まりに応え、生涯学習によるまちづくりを推進するため、各種の学級・文化講座や講演会をはじめとした多様な学習機会を提供します。また、高齢者が自ら学び地域社会活動の活性化を図るため、全国に誇れる高年大学の充実を図ります。

そして、地域人材の発掘・育成、社会学習成果の地域での活用などにより、地域における生涯学習体制を整備し、充実した学習活動が行えるよう支援します。さらに、生涯学習の場となる施設の整備を進めて、「いつでも・どこでも・だれでも・たのしく学べるまち」の創造を目指します。

【実施施策】

◇生涯学習体制の充実 ◇生涯学習施設の整備 ◇図書館の充実

【施策成果指標】



より多くの方が学習活動や地域活動を通じて、ぬくもりのある地域コミュニティを形成していくための指標として、生涯学習や防災など地域のさまざまな活動拠点である地区公民館利用者数の増加を目指します。

市民の心を豊かに培う図書館の充実を図るための指標として、適格な図書資料を整えて市民に提供し、貸出冊数の増加を目指します。

【構成事務事業の達成ランク】

基本施策	構成事務事業			
	H25 ランク			
	A	B	C	小計
生涯学習を充実する	18	3	0	21
生涯学習体制の充実	15	1	0	16
生涯学習施設の整備	2	0	0	2
図書館の充実	1	2	0	3

これまでの取り組み成果

生涯学習に対する市民の関心が高まり、学習内容に対するニーズは多様化している中、地区公民館をはじめとする社会教育施設において、市民が生涯にわたり親しみながら学べる活動の場を提供し、利用者数の増加を目指すとともに、施策の適切な管理や施設整備を図った。

また地区公民館では、次代を担う子どもたちを地域で育て、安全で安心して集える居場所を提供した。

さらに、高齢者の生涯学習の拠点として、高年大学講座の充実など、生きがいを持って健康で元気に暮らせるまちづくりを推進した。

また、市民の心を豊かに培う図書館の充実を図るとともに、子どもの学力や情操の向上を図るため「学校図書館支援センター」を核として、子どもの読書活動の支援を推進した。

今後の課題

社会教育、社会体育施設の適切な管理や施設整備を行い、次代を担う子どもたちや市民が快適に安全で安心して学び集える教育環境を提供し、生涯学習の拠点である地区公民館をはじめ勤労青少年ホームや高年大学の講座の充実など、生きがいを持って健康で元気に地域で暮らせるまちづくりを推進することが求められる。

また、図書館においては、市民の知識の集積拠点として、市民にとってより利用しやすい図書館であることが求められる。

今後の施策展開

老朽化している公民館が多く、市民が安全に安心して利用できるよう、鯖江公民館の改築をはじめ施設の長寿化を図るための改修や修繕に取り組み、利用者の利便性向上を図る。

また、生涯学習・スポーツ人材バンクの登録者の増加を図るとともに、それを活用し、地域住民の学習ニーズに対応した学習講座を開催し、生涯学習の拡充を図る。

高年大学では、健康長寿と社会貢献（社会参加）を目的としたカリキュラム編成を行い、生涯学習を推進していく。

図書館では、市民の学習活動や日常生活を豊かに充実させることを支援するため、乳幼児から高齢者まで、年齢層に応じた様々な事業を展開して、市民のための市民の図書館を推進していく。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A、H25 総合評価：A〉

【基本施策】

10. 青少年を健全育成する

【基本方針】

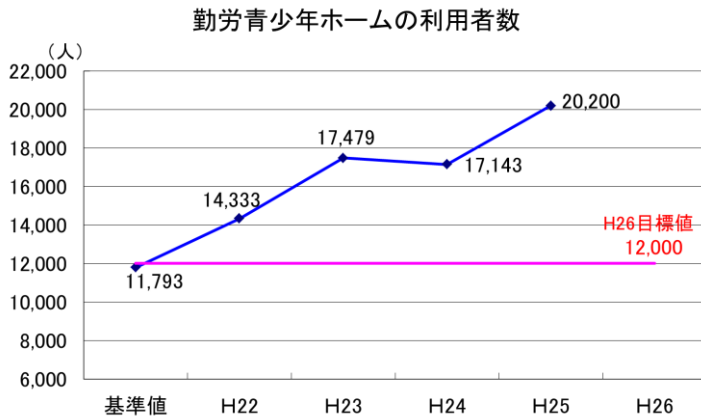
青少年健全育成鯖江市民会議をはじめとする青少年健全育成団体に対して活動支援を行い、子どもたちの活動の活性化と健全育成を図ります。また、地域の青少年健全育成体制を充実し、地域ぐるみで青少年を守り育てる環境をつくとともに、青少年補導体制を充実し、非行や問題行動の予防、早期発見、早期対応に努めます。

青年層に対しては、成人式の企画委員活動や勤労青少年ホーム・青年会館の活用などにより、同世代とのふれあいや社会との接点の場をつくり、連帯感の創出や社会参加の促進を目指します。

【実施施策】

◇青少年の健全育成

【施策成果指標】



青少年の健全育成を図るための指標として、勤労青少年ホームに若者が気軽に立ち寄れて、常に人が集い、若者の活動の拠り所になるためにタイムリーに若者が望んでいる講座を開催し、利用者数の増加を目指します。

【構成事務事業の達成ランク】

基本施策	構成事務事業			
	H25 ランク			
実施施策	A	B	C	小計
青少年を健全育成する	11	2	0	13
青少年の健全育成	11	2	0	13

これまでの取組み成果

83の関係団体と153人の青少年育成推進員等で構成する青少年健全育成鯖江市民会議を中心に、学校や関係機関、諸団体と連携しながら青少年の非行防止や環境浄化などの事業を展開し、青少年の健全育成に努めた。

また、勤労青少年ホームに若者が気軽に立ち寄り親しみのある施設となるよう愛称を「ユーカーさばえ」とし、若者のニーズに応じた講座を開催するとともに利用者枠を緩和し、青少年以外の利用拡大を図った。

今後の課題

青少年健全育成鯖江市民会議の構成団体を増やすとともに、関係団体機関や青少年に関わる各種団体がさらに緊密に連携し、各方面から青少年の健全育成を図る必要がある。

また、勤労青少年ホームの利用者増を図るため、若者のニーズに応じた講座の開設や昼間の時間帯における施設の有効利用が望まれる。

今後の施策展開

青少年健全育成鯖江市民会議の構成団体の加入を促進しながら、関係機関や青少年に関わる各種団体間の連携を強化するほか、各地区青少年育成協議会の連携も強化し、地域からの青少年健全育成のさらなる推進を図る。

また、勤労青少年ホームが若者の活動のよりどころとなるために、学級講座などについて、利用者や時代のニーズに応じて講座等の内容の拡充を図るとともに、広報等による認知度アップとPRに努めながら、昼間の時間帯における施設の利用促進を図っていく。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A、H25 総合評価：A〉

【基本施策】

1 1. 歴史・伝統・文化を伝承し創造する

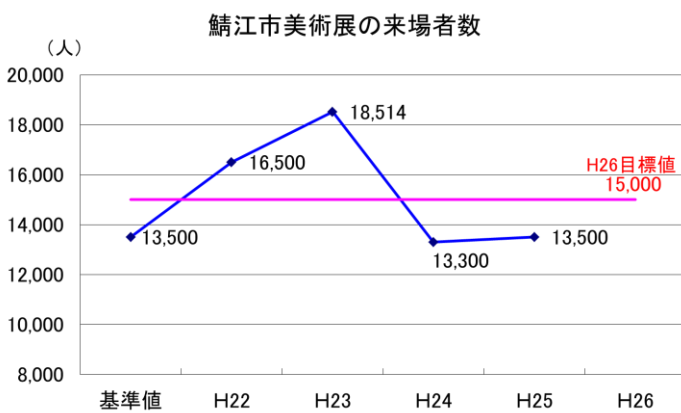
【基本方針】

文化・芸術の振興にあたっては、市民一人ひとりの自主性、創造性が必要であり、市民が心の豊かさを実感し、地域の一員であることを自覚できるように、子どもから高齢者までが、文化・芸術の鑑賞や自らが参加ができる場や機会を提供するための環境整備を進めます。

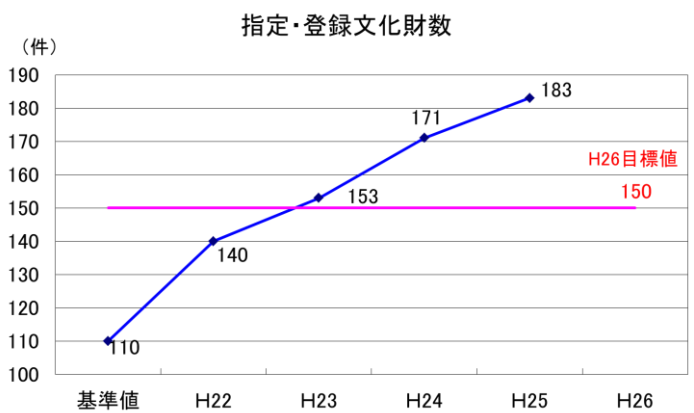
【実施施策】

◇芸術文化の振興 ◇文化財の保護・活用

【施策成果指標】



（美術文化の振興を図るための指標として、市美展への来場者の増加を目指します。）



（文化財の保護・活用を図るための指標として、市内に埋もれている文化財を発掘、調査し、指定・登録文化財 150 件を目指します。）

【構成事務事業の達成ランク】

基本施策	構成事務事業			
	H25 ランク			
	A	B	C	小計
歴史・伝統・文化を伝承し創造する	19	1	2	22
芸術文化の振興	9	1	1	11
文化財の保護・活用	10	0	1	11

これまでの取り組み成果

地域の活性化や歴史・文化を活かした新しいまちづくりのため、市内の貴重な歴史的・文化的な資産を幅広く調査し、新たに12件を市指定文化財に指定した。

今北山・磯部・弁財天古墳群の発掘調査や市内の重要遺跡・石碑等の調査、まちかど歴史浪漫コンサートの開催など文化財を活用したイベントの開催、文化財解説看板の設置、ふるさとさばえ検定や間部詮勝プロジェクトの実施など、ふるさと鯖江への愛着心の醸成や情報発信につながる取り組みを行った。

また、市美展の開催など、文化芸術に対する市民の参加・創造意識を高める機会の拡充を図るとともに、幼少期の文化芸術の体験や感動は、生涯にわたり文化芸術に理解を深める基盤となることから、文化芸術体験教室の開催、子ども文楽交流の実施など、子どもたちが、直接、文化芸術に触れる機会の充実に努めた。

今後の課題

文化振興事業については、まなべの館の活用や内容の充実を図り、新しい企画等を取り入れ実施しているが、単年度の取り組みで結果や効果がすぐに期待できるものではないので、できる限りの情報発信に努め地道に事業の継続や積み重ねを行っていくことが必要である。

また、子どもたちの豊かな感性や表現力、創造性を育むことができるよう、芸術文化に直接触れる機会の充実や文化に親しむことができる環境の整備や機会の提供が必要である。

今後の施策展開

市内の貴重な歴史的・文化的な資産を幅広く調査し、市民が中心となって保存方法を考え、後世に引き継いでいく取り組みを継続するとともに、一人でも多くの市民が気軽に文化芸術に触れる機会を創出していく。

また、将来を担う子どもたちが、日本古来の伝統文化に触れて、豊かな感性や表現力、創造性を育むことができる機会の提供とともに内容の充実を図る。

また、美術文化の振興を図るため、市美展への出品数と来場者の増加推進を図る。

間部詮勝プロジェクトについては、都市再生整備計画事業を活用し藩主就任200年を節目の年としてさらなる浸透を図る。

【総合評価】

- A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。
- B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。
- C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。
- D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A、H25 総合評価：A〉

【基本施策】

1 2. スポーツの普及・振興を図る

【基本方針】

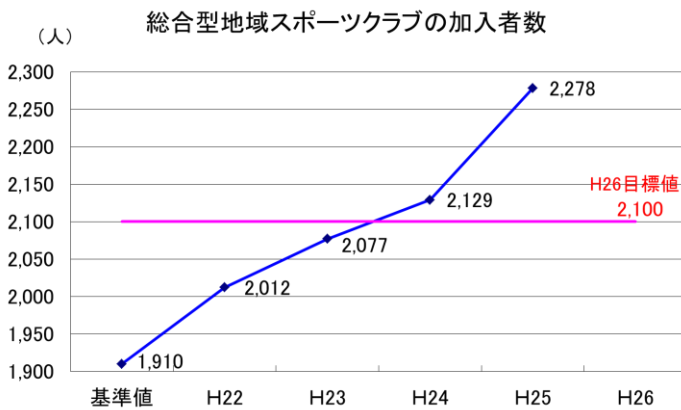
スポーツ人口の底辺拡大や日常生活でのスポーツ習慣の定着には、青少年期におけるスポーツへの取り組みが大きく作用します。児童のスポーツへの接点が、体育授業以外では単一種目の競技力向上が目的のスポーツ少年団での活動が主体であり、幅広いスポーツ種目への取り組みが不足しています。生涯スポーツへの発展が期待できる総合型地域スポーツクラブとの連携について長期的視野に立って強化を図っていきます。

さらに、総合型地域スポーツクラブは、地域を基本に世代間の交流や幅広い指導者の育成に取り組むなど、総合的なスポーツ振興の実現を目的として活動し、スポーツの普及・振興における重要性はますます大きくなっており、活性化を図っていきます。また、市民が安全・安心でスポーツに取り組むことのできる環境の整備に努めます。

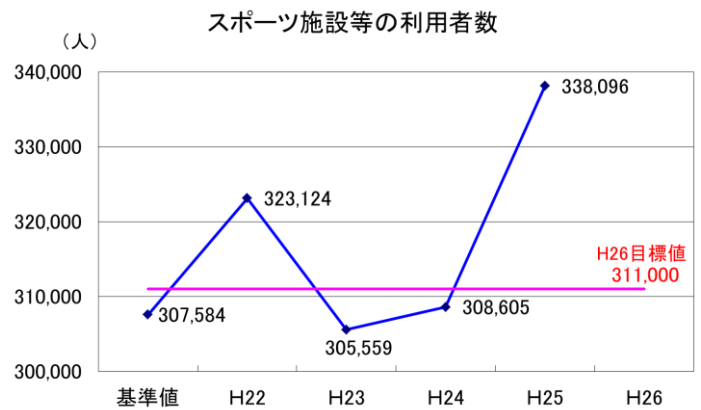
【実施施策】

◇生涯スポーツの推進 ◇スポーツ施設の整備

【施策成果指標】



生涯スポーツの推進を図るための指標として、3つの総合型地域スポーツクラブの加入者数の増加を目指します。



スポーツの普及・振興を図るための指標として、既存スポーツ施設の適切な維持管理による利用者の安全・安心の確保と有効活用により、利用者数の増加を目指します。

【構成事務事業の達成ランク】

基本施策	構成事務事業			
	H25 ランク			
	A	B	C	小計
スポーツの普及・振興を図る	20	2	0	22
生涯スポーツの推進	12	1	0	13
スポーツ施設の整備	8	1	0	9

これまでの取り組み成果

幼児から高齢者まで、日常生活の中にスポーツの機会を身近に取り入れていくため、幼児体操ふれあい教室、ニュースポーツ教室、出前講座などの事業をはじめ、大学との連携によるスポーツ強化事業、さらに障がい者のスポーツ環境の整備を図った。

また、全国的な体操競技、駅伝競走、マラソンなどのスポーツイベントの開催や、「ツアー型スポーツ合コン」などのスポーツ交流事業を通じて「スポーツのまちさばえ」を発信し、全ての市民が豊かさを実感できる鯖江型の生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組んだ。

今後の課題

市民各層の多様化したスポーツニーズへの対応、さらに、ライフスタイルに応じて気軽にスポーツに親しめるよう、総合型スポーツクラブの充実を図る必要がある。特に、青少年の健全育成のため、(一社)鯖江市体育協会・総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団など、各種スポーツ団体が連携・協働して、地域全体での青少年期におけるスポーツ活動へ対応することが必要である。

また、平成30年に開催される福井しあわせ元気国体に向け、ジュニアアスリートの育成やハード、ソフト両面での様々な取り組みを必要としている。

今後の施策展開

市民のスポーツ習慣の定着と市全体の生涯健康および生涯スポーツ社会の推進のため、鯖江の恵まれたスポーツ環境を活用し、市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて気軽にスポーツに親しめるよう、各種スポーツ団体と協力してスポーツ教室やスポーツイベントを開催し、元気と活力あふれるまちづくりを目指す。

また、青少年期のスポーツ活動は人間性育成に大きく寄与するため、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の加入促進を推進しながら、青少年の健全育成を図っていく。

また、市民が、安全・安心してスポーツ活動ができるよう、老朽化した体育施設の整備や、平成30年の福井しあわせ元気国体開催に向け、アスリートの育成や国体への気運を高める活動などを、関係団体と連携して進めていく。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A、H25 総合評価：A〉